

面積:213,096平方キロ

(日本の本州より若干小さい)(全米50州中15位)

人口:2,913,314人(2019年国勢調査概算)(全米35位)

(白人75.7%,黒人6.1%,ヒスパニック12.1%,アジア3.1%)

(2019年国勢調査概算))

州都: Topeka 愛称:Wheat State

カンザス州概要



令和2年7月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事:ローラ・ケリー(Laura Kelly)(民)
2019年1月就任,現在1期目
- 議会構成:二院制
上院議席数 40 民主党 11 共和党 28 独立1
下院議席数125 民主党 41 共和党 84
- 内政状況:
カンザス州は伝統的に共和党が強く,大統領選では1968年以降共和党候補が勝利している。連邦上院議員も2議席とも1932年来共和党議員が務めている。同州は1958年来のright to work(労働組合による従業員の組合費自動徴収撤廃を認める)州である。
知事は共和党と民主党とで交互に選ばれる傾向にあり,2018年選挙でケリー知事(民)が大接戦の末にトランプ大統領に近い超保守派のコーバック州無長官(共)を制した。ブラウンバック元知事(共)政権下の州史上最大の州所得税減税政策は,財政政策の失敗の代名詞として全米に知られ,同知事は再選が危ぶまれていたが,2018年1月にトランプ政権下で信教の自由広域担当大使に任命された。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数:6名
- 2016年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率57.2%)
- 連邦上院議員
パット・ロバーツ(Pat Roberts)(共)
ジェリー・モラン(Jerry Moran)(共)
- 連邦下院議員(議席数4名)
民主党1名 共和党3名

経済

【州経済】

- 主要産業
・農業:穀物(冬小麦等),畜産(牛)
・製造業:自動車,航空機,食品加工業等
- GDP:1,731億ドル(2019年)
- 1人当たり個人所得:53,453ドル(2019年)
- 失業率:7.5%(2020年6月)
- 輸出額:11,615百万ドル(2019年)
- 輸出品目:輸送用機器,加工食品,農産物,一般機械,化学製品
- 輸出相手国(2019年):
メキシコ(19%),カナダ(16%),日本(9%),
中国(5%),ドイツ(4%)
- 財政:(2018年度)
(出典 U.S. Census Bureau)
歳入:21,878百万ドル
歳出:19,572百万ドル
債務残高:6,137百万ドル
- 経済状況
カンザス州は,米国を代表する小麦と肉牛の生産州である。製粉・食品加工等の農畜産物関連事業も盛ん。ウィチタを中心とした航空機産業,特に小型自家用機生産は全米一を誇る。また,ソフトバンクの子会社であるスプリント社が本社を置いている。

【対日経済】

- 対日輸入額:692百万ドル(2019年)
- 対日輸出額:1,030百万ドル(2019年)
- 主要輸出品目:加工食品,雑品,一次金属製品
化学製品,輸送用機器,
- 日系企業の進出数/雇用数:約70事業所/約1万400人(2018年)
- 州駐日事務所なし(閉鎖),日米中西部会には2012年に脱退後,2018年に復帰

日本との関係

【要人往来】

(往)日米中西部会出席のため,知事または副知事が訪日(04年9月セベリウス知事,07年9月パーキンソン副知事)。
(来)2011年10月,平塚市長一行が姉妹都市提携20周年記念事業のためローレンス市に來訪。

【文化,広報関係】

米国中部日米協会(カンザスシティ)が活発に活動している(1962年創設)。2012年の設立50周年には,外務大臣表彰を受賞した。同協会は,毎年秋に5,000人規模の日本祭を開催。

カンザス大学は東アジア研究センターを有し,幅広い日本研究が行われている。カンザス州立大学は,マイヤーズ元在日米軍司令官が学長を務めている。また,同校には,世界で唯一のパン学科があり,日本の企業関係者も留学している(同校は食肉研究,園芸療法の研究でも知られている)。

州内フォートレブンワース市には,アメリカ陸軍指揮幕僚大学があり,陸上自衛隊からは2佐級の連絡調整官及び留学生が派遣されている。

ローレンス市のフレンドシップパーク内に日本庭園があり,2020年8月,トピカ市にも日本庭園開園予定。

【在留邦人数(2019年10月1日現在)】

1,649人

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(オーバーランドパーク)

【姉妹都市関係(3)】

小美玉市(旧美野里町)(茨城県)ーアビリン
平塚市(神奈川県)ーローレンス
近江八幡市(滋賀県)ーレブンワース

【名誉領事】

ジェームズ・サトシ・カンキ(カンザスシティ)